

(3) 県負担・補助率の考え方

県内で発生する人身安全関連事案の被害防止に関する事業であり、県民の生命・身体の保護に直接関わる負担であること、また他の国庫補助対象事業と同様の割合で国庫を充当しており県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	752	人身安全関連事案対策用カメラ整備等事務費
役務費	59	人身安全関連事案対策用携帯電話使用料
使用料及び 賃借料	2,715	被害者対策用位置情報通報装置借上、被害者等一時避難施設の借上
その他	291	精神科医等によるアドバイス謝金、カウンセリング講座受講経費
合計	3,817	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ-2-(2)-③ 犯罪・交通事故防止の推進

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 ストーカーやDV事案、児童虐待、高齢者虐待等の人身安全関連事案に対して迅速かつ的確な対応を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
ストーカー相談認知件数	/	784件	/	/	/	%
DV相談認知件数	/	2,134件	/	/	/	%

○指標を設定することができない場合の理由

人身安全関連事案に関する被害防止に向けた事業であり、目標設定は困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	位置情報通報装置100台の借上げを継続し、小型・暗視型防犯カメラを2式、玄関用監視カメラを3台増強し、年々増加するストーカー・DV事案の被害者等への保護対策について、認知したすべての事案に対応することができた。
令和3年度	指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%
令和4年度	指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>人身安全関連事案の被害防止対策は、県民の安全・安心に直結する事業であり、必要性は高い。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>人身安全関連事案の被害防止に関する資機材の確保・維持により効果的な運用に努めている。</p>
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 1	<p>限られた予算の範囲内で効果的な執行に努めており、効果的な手法により事業展開している。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>事案認知件数の高止まり感がある中、限られた資機材を有効に活用して被害者保護の徹底に取り組む必要がある。資機材の必要数の確保と維持管理が課題である。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>人身安全関連事案については、県民の安全・安心に関わるものであり、今後も継続して取り組む必要がある。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	